

## グリーンエア

### 我が家のパソコン顛末記

我が家のパソコンは夫が盛岡に単身赴任していた4年前に購入したものだったが、家族全員が異なった場所に住む状態で引越しやら、新しい所で使う電気器具や家具などの購入で経費も嵩むため、できるだけ安いものを求めた。パソコン購入後間もなくして、私も盛岡に異動となって、そのパソコンを共有することになった。はじめは少し動きが遅いパソコンだなと感じる程度だったが、秋冬を経て暖かくなってきたら、パソコンを使い始めて数分もしないうちに、鼻をつく臭いととともに眼がちかちかして、そのうち頭痛や唇のしびれを感じるようになった。夫に聞いてみるとやはり同様な症状があるとのこと。まさに化学物質過敏症の症状である。まず部屋の換気扇を24時間運転として、パソコン使用時にはできるだけ窓を開け、近くに光触媒加工をした植物をおいたところ、やや症状は軽くなったが、不快な症状は特に気温の高いときにはひどかった。それでも仕事には欠かせないため我慢して使用していた。このパソコンが2ヶ月前にはじめは画面がゆらゆらするようになり、そのうちスイッチ部分が故障して、全く画面が描出されなくなり、スイッチを切ろうとしても切れなくなってしまった。修理店に診断してもらったところ修理にはかなりのお金がかかるので、ハードに入っているデータだけ出して買い換えた方が良いとアドバイスされた。今まで何台もパソコンを使用してきたが、このような故障は初めてだった。ここでわかったことは、安いものはそれなりのことがあるということだ。操作に時間がかかるだけでなく、スイッチ部分の故障で修理困難、パソコン本体から出る有害化学物質の可能性、もしかしたら電磁波も関係しているかもしれないことなど。パソコンのメーカー名はここでは言及しないが、本体は東南アジアで組み立てられた（もしかしたら作製も）ものだった。新しいパソコンは値段こそやや高くなったが、日本の大手メーカーのものにした。初めての使用から、あまりに快適なのでびっくりしたと同時に今までの苦痛は何だったのかという思いである。気を付けなければならぬのは、家に帰ってからパソコンに向かって仕事をする時間が長くなる傾向にあることだ。これでは仕事中毒に注意というところだ。パソコンは電磁波だけでなく、本体が暖められた時に出てくる化学物質の影響も大きいと思われる。パソコンを選択する時には、考慮すべき条件だが、実際にパソコンショップで購入する時にはなかなかわからない。外出が儘ならないCS患者さんにとってコミュニケーション手段として、とても有用なものだが、使用時に不快な症状が出て長時間はとてもできない方も多し。購入前に何日間かモニター期間として使わせてもらえるようにならないものだろうかと思う。

